



# 障害者の就労支援について ～今後の市の取り組み～

穏やかな小春日和の平成27年11月19日(木)に第209回障害者地域生活支援研究会が開催されました。今回は「障害者の就労支援について～今後の市の取り組み～」と題して行われました。

最初に、北九州市保健福祉局 障害福祉部障害者就労支援室 障害者就労支援担当 小西 康平係長に、障害者の就労支援について、市の取り組みを中心にお話して頂きました。

障害者雇用促進法改正(平成28年4月施行)や障害者優先調達推進法(平成25年4月施行)に伴い障害者の就労支援をとりまく環境が変わる転換期にあつて、福岡県において就職件数は増えているが法定雇用率を下回っているとのこと。このような障害者の就労を取り巻く環境の変化に対応するために、今年4月に**“障害者就労支援室”**が新たに設置されたとのことでした。

大きな切り口として“民間企業への就労支援”と“障害者就労施設等の利用者への支援”の2つを目的にしているとのことですが、市の取り組みとして、市職員の障害者に接する機会を作り、障害に対する理解を深めるために、本庁舎1階で障害者作業所等の製品の販売をしているとのことでした。その取り組みにより、障害者優先調達を推進していきたいとのことでした。

また、対外的な取り組みとして、先進的な障害者雇用をしている民間企業で“障害者就業モデル事例集”をつくって、障害者雇用が進んでいない企業への情報提供を行い、雇用促進を軌道に乗せることを目指しているとのことでした。

「新しい形で**“障害者就労支援室”**がスタートしたので、色々な場面に顔を出して、民間企業や市役所の他局と連携していく必要があると認識している。今後はネットワークの構築を図り、“働きやすい環境づくり”“就職の促進”を目指し、行政として障害者の就労支援に一層取り組んでいかないといけない。」とのことでした。



続いて、北九州障害者しごとサポートセンター 副所長 玉置 満さんから北九州障害者しごとサポートセンターの事業説明と、2015年の取り組み実績をご報告して頂きました。

“北九州障害者しごとサポートセンター”では、障害のある方の就労企業開拓、職場実習や就職を促進するとともに、職場定着を進めるために、就労面と生活面の双方から総合的に支援しているとのこと、「就職したい」「働いているけれど、悩みがある」等々、障害のあるご本人からのご相談と、「障害者を雇いたい」「雇ったけれど、接し方がわからない」等々、企業からのご相談も受けているとのことでした。

支援のながれとして、“職業準備訓練”“就職”“フォローアップ(職場定着・定着支援)”とある中で、一番難しく一番力を入れるのは“フォローアップ”「就職が続くように支援する」ことであり、その方の夢の実現を支援することに重きを置いているとのことでした。

また、どこでもいいから就職させて欲しいと言う支援者の方がいるが、作業能力よりその人が働きたいと思っているかが重要で、支援者が働いて欲しいと思っても、本人はそれほど就労したいと思っていない場合では、時間を掛けても就労につながらないことがあるので、その点を明確にしてから相談して頂くと、結局は就労への近道になるとのことでした。

また、支援者の方からの相談も受けているので「働くというキーワードがあれば、“北九州障害者しごとサポートセンター”に相談に来てほしい」とのことでした。

新規にご参加頂いた方が多く、フロアからたくさんの質問を頂き、障害のある人の就労への関心の高さを感じました。

本日の参加者は64名。新規の方は23名でした。ありがとうございました。

※こちらの議事録は  
北九州市障害者自立支援協議会の  
ホームページでもご覧いただけます。  
<http://kitakyushu-net.shien-c.com/>

